



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 遠藤 聡 (TEL) 03-3466-2171
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,959	45.9	144	—	126	—	77	—
2023年3月期第2四半期	2,712	1.5	△266	—	△289	—	△234	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 140百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △242百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	40.01	—
2023年3月期第2四半期	△121.09	—

(注) 2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	13,750	7,855	57.1
2023年3月期	16,323	7,763	47.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 7,855百万円 2023年3月期 7,763百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

- 2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。
- 2024年3月31日を基準日とする2024年3月期の期末配当は、当該株式分割の影響を考慮して、当該株式分割後の株式数を基準としています。
- 2024年3月期における株式分割前基準による1株当たり年間配当金の予想は50円です。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,400	△2.7	310	△27.2	290	△29.1	190	△39.5	98.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期通期の1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮した数値を記載しています。なお、当該株式分割の影響を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は196円39銭です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期2Q	2,024,000株	2023年3月期	2,024,000株
2024年3月期2Q	89,232株	2023年3月期	89,044株
2024年3月期2Q	1,934,875株	2023年3月期2Q	1,935,016株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「期末発行済株式数 (自己株式を含む)」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数 (四半期累計)」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書（第2四半期連結累計期間）	6
四半期連結包括利益計算書（第2四半期連結累計期間）	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の回復、インバウンド需要の増加、半導体不足の影響低下、円安による輸出企業の収益増加などを要因として、緩やかな景気回復基調にあります。一方、物価高による需要減少、人手不足の深刻化、海外経済の下振れ懸念など先行きへの不安もある状況で推移しております。このような状況のもと当社グループといたしましては、引き続きお客様に満足される製品・サービスの提供により、安心・安全な社会の維持に貢献するべく事業活動を行うとともに、生産体制の見直し、原価構造の改善、売価の再設定、働き方の改善等の課題に取り組んでおります。

その結果として、売上高は3,959百万円（前年同期比45.9%増）、営業利益144百万円（前年同期は266百万円の営業損失）、経常利益126百万円（前年同期は289百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益77百万円（前年同期は234百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

売上高は、消防・防災事業、航空・宇宙、工業用品事業ともに前年同期と比べ増加となりました。消防・防災事業では、前期からの持ち越し案件や大口案件の販売が第1四半期に重なったことから売上高は増加しております。航空・宇宙、工業用品事業では、受注回復傾向が継続しており売上高は増加しております。なお、消防・防災事業では、顧客予算との関係から売上高は下期に集中する傾向にあります。

利益面は、前期に続き原材料価格の上昇とエネルギーコストの高止まりの影響は大きいものの、売上高の確保と工場稼働率向上に伴う原価率の改善を要因として、売上総利益は大幅に増加しました。販売増に伴い営業費用も増加しておりますが、売上総利益を大きく確保できたことから、前年同期の損失計上に対して当第2四半期では営業利益、経常利益を計上し収益性を改善しております。第2四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(消防・防災事業)

消防ホース・消火栓ホースの販売は、概ね前年同期と同水準で推移しております。資機材では、第1四半期に前期持ち越し案件と安全対策資機材などの大口案件が重なり、大幅な販売増加となっております。前期持ち越し案件は、半導体不足等による消防用車両の供給遅れに起因しており、車両積載向け資機材の販売増が中心となっております。

利益面では、売上高が前年同期比で大幅な増加となったこと、また、当第2四半期に利益率の良い資機材の販売などもあったことから、前年同期比で損失を縮小しております。

その結果、売上高1,784百万円（前年同期比71.7%増）、セグメント損失（営業損失）は78百万円（前年同期は232百万円のセグメント損失）となりました。

(航空・宇宙、工業用品事業)

航空・宇宙部門は、前期からの受注回復が継続しており、大型機のエンジン部品及び配管類などの金属製品のほか民間機用ゴムシールの販売が伸びております。工業用品部門は、引き続き原油貯蔵施設向けのタンクシールについて交換需要の引き合いが多く、販売が増加しております。

利益面では、工場稼働率の向上が大きく寄与し原価率が改善したことから、前年同期比で大幅に増益となりました。

その結果、売上高は1,927百万円（前年同期比35.1%増）、セグメント利益（営業利益）は296百万円（前年同期比465.8%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は順調に推移しております。利益面では、減価償却費の減少などを要因として前年同期に比べ増益となっております。その結果、売上高は247百万円（前年同期比0.1%減）、セグメント利益（営業利益）は72百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間における流動資産は9,375百万円（前連結会計年度末比2,550百万円減）となりました。主として、現金及び預金が141百万円、棚卸資産が562百万円それぞれ増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が3,463百万円減少したことによるものです。また、固定資産は有形固定資産の減価償却等により、4,375百万円（前連結会計年度末比22百万円減）となりました。

この結果、資産合計は13,750百万円（前連結会計年度末比2,572百万円減）となりました。

②負債

当第2四半期連結会計期間における流動負債は3,227百万円（前連結会計年度末比2,763百万円減）となりました。主として、支払手形及び買掛金が2,379百万円減少したことによるものです。また、固定負債は2,667百万円（前連結会計年度末比98百万円増）となりました。この結果、負債合計は5,895百万円（前連結会計年度末比2,664百万円減）となりました。

③純資産

当第2四半期連結会計期間における純資産は7,855百万円（前連結会計年度末比92百万円増）となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純利益77百万円による増加と剰余金の処分48百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては2023年5月12日に公表いたしました通期の連結業績予想の内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,022,502	3,163,991
受取手形、売掛金及び契約資産	5,661,520	2,197,666
電子記録債権	409,351	453,663
商品及び製品	212,860	319,564
半製品	482,630	621,912
仕掛品	1,432,245	1,741,216
原材料及び貯蔵品	585,679	593,532
その他	124,347	286,016
貸倒引当金	△5,817	△2,553
流動資産合計	11,925,320	9,375,010
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,575,405	1,518,820
土地	1,490,366	1,490,366
その他（純額）	433,326	430,477
有形固定資産合計	3,499,098	3,439,664
無形固定資産		
投資その他の資産	22,572	21,367
投資有価証券	296,962	375,730
その他	579,656	539,149
投資その他の資産合計	876,619	914,879
固定資産合計	4,398,290	4,375,911
資産合計	16,323,611	13,750,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,834,986	455,726
電子記録債務	560,584	594,246
短期借入金	820,000	810,000
1年内償還予定の社債	220,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	589,027	757,292
未払法人税等	175,684	27,598
賞与引当金	249,019	181,501
役員賞与引当金	40,000	-
その他	501,835	381,235
流動負債合計	5,991,137	3,227,600
固定負債		
社債	20,000	110,000
長期借入金	1,446,827	1,308,337
役員退職慰労引当金	239,542	252,732
退職給付に係る負債	560,671	559,294
資産除去債務	13,143	13,295
その他	288,841	423,986
固定負債合計	2,569,026	2,667,646
負債合計	8,560,163	5,895,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	7,148,043	7,177,079
自己株式	△173,794	△174,130
株主資本合計	7,765,679	7,794,379
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,701	153,146
退職給付に係る調整累計額	△100,933	△91,850
その他の包括利益累計額合計	△2,232	61,296
純資産合計	7,763,447	7,855,675
負債純資産合計	16,323,611	13,750,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	2,712,916	3,959,393
売上原価	2,177,339	2,964,113
売上総利益	535,576	995,279
販売費及び一般管理費	802,256	851,196
営業利益又は営業損失(△)	△266,679	144,083
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	4,322	5,140
受取地代家賃	7,136	7,553
貸倒引当金戻入額	1,645	3,264
その他	2,992	3,051
営業外収益合計	16,102	19,016
営業外費用		
支払利息	21,592	18,386
社債利息	330	260
為替差損	15,538	13,872
社債発行費	-	2,859
その他	1,392	1,117
営業外費用合計	38,854	36,496
経常利益又は経常損失(△)	△289,431	126,603
特別損失		
固定資産除売却損	35	1,350
事業構造改善費用	32,888	-
特別損失合計	32,923	1,350
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△322,354	125,253
法人税、住民税及び事業税	18,169	21,913
法人税等調整額	△106,222	25,929
法人税等合計	△88,052	47,843
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△234,302	77,410
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△234,302	77,410

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△234,302	77,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,789	54,445
退職給付に係る調整額	6,281	9,083
その他の包括利益合計	△8,507	63,528
四半期包括利益	△242,810	140,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△242,810	140,938
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△322,354	125,253
減価償却費	135,950	123,736
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,645	△3,264
賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,655	△67,518
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	-	△40,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,043	13,190
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12,537	11,599
受取利息及び受取配当金	△4,329	△5,147
支払利息	21,923	18,647
社債発行費	-	2,859
固定資産除売却損益(△は益)	35	1,350
売上債権の増減額(△は増加)	1,628,600	3,419,542
棚卸資産の増減額(△は増加)	△423,597	△562,810
仕入債務の増減額(△は減少)	△853,878	△2,345,598
その他	△227,411	△151,751
小計	△32,780	540,089
利息及び配当金の受取額	4,114	4,736
利息の支払額	△22,548	△19,283
法人税等の支払額	△36,697	△163,342
法人税等の還付額	14,942	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△72,969	362,198
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△81,669	△63,365
有形固定資産の売却に係る手付金収入	23,000	-
無形固定資産の取得による支出	-	△618
その他	△12,553	△14,118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△71,223	△78,101
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	-	97,140
社債の償還による支出	△20,000	△210,000
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△10,000
長期借入れによる収入	480,000	370,000
長期借入金の返済による支出	△495,032	△340,225
自己株式の取得による支出	-	△336
配当金の支払額	△24,087	△47,991
その他	△4,122	△1,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△63,241	△142,607
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△207,433	141,489
現金及び現金同等物の期首残高	3,186,520	2,853,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,979,086	2,994,791

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
一定時点で移転される財	1,039,081	1,426,434	49,533	2,515,048	—	2,515,048
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	1,039,081	1,426,434	49,533	2,515,048	—	2,515,048
その他の収益	—	—	197,867	197,867	—	197,867
外部顧客への売上高	1,039,081	1,426,434	247,400	2,712,916	—	2,712,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,039,081	1,426,434	247,400	2,712,916	—	2,712,916
セグメント利益又は損失(△)	△232,818	52,365	67,257	△113,195	△153,484	△266,679

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,484千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
一定時点で移転される財	1,784,513	1,927,747	50,973	3,763,234	—	3,763,234
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	1,784,513	1,927,747	50,973	3,763,234	—	3,763,234
その他の収益	—	—	196,158	196,158	—	196,158
外部顧客への売上高	1,784,513	1,927,747	247,132	3,959,393	—	3,959,393
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,784,513	1,927,747	247,132	3,959,393	—	3,959,393
セグメント利益又は損失(△)	△78,481	296,272	72,209	290,000	△145,916	144,083

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△145,916千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。